

## 加藤千磨 名古屋銀行頭取に 名誉経営学博士の学位を授与

名古屋学院大学の経済経営研究科に博士後期課程を設置して満5年となりますが、その完成年度末の2002年3月に、本学「名誉学位規程」にもとづく初めての「名誉経営博士」の学位が、名古屋銀行 加藤千磨（かとう ちまろ 64歳）頭取に授与されました。深い学識と経験を持ち、社会・文化の発展に貢献し、また、本学の研究および教育に著しく貢献が学位授与の理由となっています。加藤千磨頭取は、名古屋銀行頭取のほか、中部経済同友会代表幹事、第二地方銀行協会会長、全国銀行協会副会長、中部経済連合会常任理事など主に経済活動を中心とした社会・文化に多大な貢献をされています。

本学では第1号となる名誉経営学博士の授与式は、2002年3月29日（金）午前11時からチャペルで挙行されました。授与式では、学長、研究科長の式辞ののち学位記ならびに記念品が授与され、理事長から祝辞が述べられました。加藤頭取からは、地域社会、経済にさらに貢献していきたいとの謝辞が述べられました。

名誉経営学博士の学位授与式



大学内のボランティアセンター

## 名古屋学院大学に ボランティアセンターが開設

今年の春、本学総合研究所1階に「名古屋学院大学ボランティアセンター」（以下「ボラセン」とよぶ）が設立、開設されました。このボラセンとは、ボランティアを希望する学生とボランティアの受け入れ団体との架け橋的な役割を担うとともに、実際のボランティア活動を組織的に行うことを目的としています。

すでに多くの学生がボラセンに登録（1月末で56名）しており、窓口業務を始め、具体的な活動として、①本学近くの知的障害者厚生施設「まゆ」での英会話教室など定期的な交流、②知的障害者の父母会とその子どもとの交流、老人ケアハウス「聚楽」での交流などで活発な活動として始まっています。

大学では、このボラセンを特色ある大学教育の「環」として捉えており、その活動を通じて、多くの学生に社会公益的な活動への参加や地域社会との交流を促し、彼らが社会の担い手としての視点を育み「学ぶ喜び」を体感することを期待しています。

また、2005年にはこの地域で国際博覧会は開催されます。そこで、万博開催時には、このボラセンが核となって多くの学生に対してボランティア・市民参加の情報を提供するとともに、コーディネーターとしての役割が担えるような組織に育っていくように見守ってまいります。

## 商学部「情報ビジネス コミュニケーション学科」を新設

本学商学部は2003年4月の開設をめざして「情報ビジネスコミュニケーション学科（以下「情報B.C学科」という）の設置申請をしましたが、文部科学省から正式に認可されました。これで商学部は商学科（入学定員180名）と情報B.C学科（入学定員120名）の2学科となり、本学は3学部6学科となります。

情報B.C学科では、経営情報コースとビジネスコミュニケーションコースの2つのコースが用意されており、経営情報コースでは、「コンピュータに強いビジネスパーソン」「ビジネスを知り尽くしたIT技術者の育成を」ビジネスコミュニケーションコースでは、「豊かな国際性をそなえたビジネスパーソン」の養成をそれぞれ目的としています。

また、これまでの商学科もマネジメントコース、ファイナンスコース、会計コースと3つのコースに改められ、さらに実学重視のキャリアラムとなり、インターンシップや資格取得のための科目も配置されます。

情報B.C学科の学生募集については、すでにAO入試を終え、これから推薦（指定校・一般）2般へ入試本番へ突入することになります。多くの受験生が新しい情報B.C学科ばかりか本学全学部・学科への関心が高まるよう期待したいものです。